

教会フリマで「異文化」交流

追悼・市川森一さん「帰ってきたウルトラマン」

「悪魔と天使の間に…」をひもとく

いのフェス2014

教会関係者によるフリーマーケットとして2011年から毎年行われている「いの☆フェスティバル(略称いのフェス)」が今年も9月23日、早稲田奉仕園(新宿区西早稲田)で開催された(同実行委員会主催)。これまでも評論家の岡田斗司夫さん、社会学者の宮台真司さんなど教会外のゲストを抱いてきた「いのフェス」だが、「抱けり未踏の新境地(パラダイス)」と謳う今回は、かつて「ミニストリー」誌で故・市川森一さん(脚本家)と対談した評論家の切通進作さんや、晩年同じ教会員として親交のあった演出家の真船裕さん(日基教団麻布南部教会員)、早稲田大学特撮サークル「怪獣同盟」の学生たちを抱いたトローライブなどが行われ、異色な顔合わせによるこれまでにない盛り上がりを見せた。



市川作品について語り合う(左から)切通さん、真船さん、「怪獣同盟」の学生(撮影はいずれも山名敏郎)

秋晴れの空の下、奉仕園の中庭には「ゴスチューム」を身にまとったヒーローや初参加のアイドルグループ「PIP」(ピープイ・ピー)ファンと思われる集団、出展ブースを見て回る信徒、首から食料品を下げて売り子をする牧師などでにぎわった。

教派の枠を超えた企業、団体、個人が出展。日基教団東北教区被災者支援センター・エマオや、開局したばかりのカトリック系ネットラジオ放送局「カトラジ」などが活動をPRしたほか、手作り雑貨を販売するブースなどが目を引いた。

メイン会場で行われたミニ

ニライブ「魂の舞臺には、シンカーソングライターのヤマモトカオリさん、批評家の濱野智史さん(前田敦子はキリストを超えた「著者」がプロデュースする「PIP」、現役牧師と神学生のロックバンド「牧師ROCKS」)から、ドラマーの市原悠史さん(日本福音ルーテル甲府教会・諏訪教会主任牧師)が出演。

「音楽家 デュメイジング・グレイス」をバックに祈りの姿勢で「PIP」が入場すると、場内はファンたちの掛け声であふれた。その一体感は、先に壇上で歌声を披露したヤマモトさんをも「今まさに経験したことのないリズムの正確さと高揚感」と驚かせるほど。パフォーマンスの合間には、人狼ゲームをモチーフとした「最後の晩餐」(真切り者は誰だ?) (キリスト新聞社)でメンバーが遊ぶ一幕も。出演した「PIP」メンバーは「教会の音が温かくひらびらと響いていく感じが、愛を感じた」と思い思いの感想をブログで綴っていた。

アイドルと怪獣とキリスト教？

ライブの合間に行われた「怪獣同盟」によるヒーローショーでは、早稲田大学の学生ヒーローユニット「学装ワセダライト」がホール内で所狭しと大活躍。見事「悪魔」たちを倒すと、場内から大きな拍手が送られた。「怪獣同盟」は今年創立31周年を迎える老舗のサークルで、特撮番組のプロデューサーを務める高寺重徳さんが在学時に結成した。

脚本家・市川森一さんの追悼企画として催された「ぼくらの時代のヒーローと宗教」では、切通さんと真船さん、「怪獣同盟」の学生3人が、市川さんが脚本を手がけ、真船さんがメガホンを握った「帰ってきたウルトラマン」の第31話「悪魔と天使の間に…」をめぐってトーク。そこに込められたキリスト教的な価値観や、他の市川作品に通底するヒューマニズムへのアンチテーゼ「救し」について語り合った。

当時では珍しくクリスチャンであることを公言していた市川さんに対し、尊敬



「怪獣同盟」のヒーローたちと「PIP」メンバーで記念撮影

参加した澤村雅史さん(広島女学院大学チャプレン)の話

PIPさんのライブ、すごかったです。ヲタ芸、「MIX」というんですか？ ファンとの交流も、コールアンドレスポンスや、意味合いとしては音楽史の中における「トロープス」や「セクエンシア」のようなあとと感概深かったです。途中と最後にフロアに降臨された際には、なんだかパシリカの様態に並ぶ聖人像を思いました。

真船監督、切通さん、「怪獣同盟」の学生たちによる対談も、本当に中身の濃いものになりました。なんだか真船監督のお話を聞いていて、伝道集会の説教のようだなあと、大いに感銘されました。登壇した学生のご親戚が本学の出身だと、後にごあいさつした時に聞いて、嬉しい驚きでした。

なによりも個人的には、あそこが切通さんにお目にかかることができたというのが、本当に嬉しく、舞い上がりっぱなしでした。市川森一さんと切通さんとの対談、真船監督との再会、すごくドラマチックで、神様の導きを想わずにはおられません。

誰かに何かを届けるということが、これほど自分の内面と向き合うことなのだということが再確認し、校務や説教への思いが新たにされました。

脚本家は、登壇した総勢30人以上の出演者で、「デュメイジング・グレイス」を歌い、幕を下ろした。今までの出会ったことのない「異文化」同士。サファルチャールを入りに、キリスト教へ親しみを持ってもらおうという狙いを体現する「いのフェス」。200人を超える来場者、出演者にとって、教会は、牧師はどのように映ったのだろうか。

ウガンダ・カウレ小学校 子どもたちに教室を!

http://www.jifn.org/

105千円 (目標1000円)

日本国際飢餓対策機構 ☎072-920-2225

の念を抱いていた真船さんだったが、自身が洗礼を受けたのはその後、高船になってから。思わぬめぐり合いで数十年ぶりに再会したのを機に、真船さんと同じ教会に通い始めた市川さんだったが、翌年がんを患い急逝する。

真船さんは、天草四郎を題材にした遺作「幻日」から「ウルトラマン」の時代から一言して世に問い続け